



かがわ 産業情報21

Kagawa Industry
Information 21

4

2022 vol.84

成功への道筋が見えて来る!かがわの産業界の今をお届けする

新理事長 **ご挨拶**

前理事長 **退任のご挨拶**

TOP NEWS

第29回 芦原科学賞の受賞者決定

「かがわビジネスモデル・チャレンジコンペ2021」
受賞者が決定!!

特集

令和4年度 **かがわ産業支援財団の重点事業**

令和4年度 **香川県の主な中小企業支援事業**

新かがわ中小企業応援ファンド等事業の令和4年度支援事業が決定しました!!

かがわ発! 元気創出企業

「株式会社菊井商会」

長年培ってきた技術を活かして「不可能」を「可能」にする。

ユーザーそれぞれのニーズに合わせ

より良いものを開発する接着剤メーカー



ごあいさつ



公益財団法人 かがわ産業支援財団
理事長 近藤 清志

安松前理事長の後任として、4月1日付けで公益財団法人かがわ産業支援財団の理事長に就任いたしました。
本年3月末、商工労働部長を最後に香川県庁を退職いたしました。38年の県庁人生の過半で商工労働行政に携わり、特に、平成19年度以降は企業立地支援を中心に、産業振興・労働行政も含め、一貫して商工労働行政を担当してまいりました。

この度、公益財団法人かがわ産業支援財団の理事長として仕事をさせていただくこととなり、責任の重さに身が引き締まる思いであります。もとより微力ではございますが、これまでの行政経験を活かし、県内企業の皆様が元気になり、本県産業が成長することができるよう、精一杯取り組んでまいりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

さて、新型コロナウイルスの感染拡大から2年以上が経過いたしました。ウクライナ情勢など国際情勢も先が見通せない状況が続いております。県内企業の皆様におかれましては、このような厳しい経営環境のなか、事業の継続と回復のためにご努力いただいていることに、深く敬意を表します。

当財団といたしましても、中小企業診断士等の専門家による新型コロナウイルス関連経営相談窓口を設置し、経営面で多大な影響を受けている県内中小企業等の経営課題の解決を支援するほか、新分野への進出、商品開発や販路開拓、海外進出や経営基盤強化といった多様なニーズに対応するため、よろず支援拠点等による総合的・先進的な相談・助言、研究開発、販路開拓、人材育成等によるきめ細かな支援に努めるとともに、新たに創業を考えている方に対する実践的な創業支援塾の開講や新規創業計画の作成支援に加え、起業等スタートアップ支援補助制度により、新規創業の支援にも力を入れています。

また、今年度から知財総合支援窓口を設置し、中小企業が持つ知的財産に関する悩みや課題をワンストップで解決するための支援や海外への特許出願等の支援に取り組むほか、従来どおり「新かがわ中小企業応援ファンド等事業」を活用した新商品・技術開発、新分野進出や販路開拓への支援、プロフェッショナル人材の地方還流のための事業等も実施しております。

引き続き、県内企業の総合的な支援機関として、企業の皆様の声をお聴きしながら、県と一体となって新産業の創出や産業技術の高度化、産学官の共同研究開発の支援等県内産業の活性化のための施策を積極的に推進し、県内企業の皆様から頼りにされる、かがわ産業支援財団となるよう努めてまいりますので、一層のご指導、ご鞭撻をよろしくお願ひ申し上げます。

退任のご挨拶

公益財団法人 かがわ産業支援財団
前理事長 安松 延朗

3月31日をもって、理事長を退任いたしました。

昨年4月の就任から1年間という短い期間でありましたが、県内企業の皆様、関係機関の皆様には当財団の事業の推進にご支援、ご協力をいただき、誠にありがとうございました。

コロナ禍等により、先の見通しにくい社会・経済環境が続いていますが、県内企業の皆様がこの状況を乗り越え、ご発展されますことを心から祈念して、お礼のご挨拶とさせていただきます。

第29回 芦原科学賞の受賞者決定

第29回芦原科学賞は、令和3年8月10日から10月15日にかけて募集を行い、技術開発等審査委員会(委員長:田村禎通 徳島文理大学学長)及び芦原科学賞選考委員会(委員長:筧善行香川大学学長)に諮り、受賞案件を決定しました。

そして、令和4年2月17日(木)に高松市内のホテルにおいて、浜田恵造知事のご出席を頂き贈呈式が開催されました。贈呈式では、まず芦原科学賞の顕彰があり、安松理事長から芦原科学大賞に決定した泉鋼業株式会社の村岡幸英氏、大浦幸樹氏、児山陽子氏に賞状・楯と賞金(200万円)が、芦原科学功労賞に決定したテクノ・サクセス株式会社の遠藤彰氏、池内宏行氏、須藤昌明氏、三好泰弘氏、佐倉弘太郎氏に賞状・楯と賞金(100万円)が、芦原科学奨励賞に決定した宮本スケールの大岡禎昭氏に賞状・楯と賞金(50万円)が授与されました。



(公財)かがわ産業支援財団では、高松市出身の故芦原義重関西電力(株)名誉会長からの寄附金を基金として、自然科学系分野において、県内の産業技術の高度化及び産業の振興に寄与することを目的に、平成5年度から、研究者の顕彰のための「芦原科学賞」事業を行っています。

CONTENTS

2022年4月 vol.84 発行(年4回発行)

かがわ産業情報21 4

新理事長 ご挨拶	1
前理事長 退任のご挨拶	1

【トップニュース】

第29回 芦原科学賞の受賞者決定	2
「かがわビジネスモデル・チャレンジコンペ2021」 受賞者が決定!!	4

【特集】

令和4年度 かがわ産業支援財団の重点事業	5
令和4年度 香川県の主な中小企業支援事業	7
新かがわ中小企業応援ファンド等事業の 令和4年度支援事業が決定しました!!	9

【財団の活動】

かがわ冷凍食品研究フォーラム 第9回シンポジウムを開催しました!	11
かがわ健康関連製品開発フォーラム令和3年度セミナーを開催しました	11
金融機関向け知的財産セミナーと海外模倣被害対策セミナーを開催しました	11
「第56回スーパーマーケット・トレードショー2022」に香川県ブースを出展	12
「令和3年度 関西・四国合同広域商談会」を開催しました	12
令和3年度 地域企業海外販路開拓支援事業 「海外展開の今がわかる!国際取引支援セミナー」を開催しました	12

【かがわ発!元気創出企業】

長年培ってきた技術を活かして「不可能」を「可能」にする。 ユーザーそれぞれのニーズに合わせ より良いものを開発する接着剤メーカー 株式会社菊井商会	13
--	----

芦原科学賞の受賞者と業績

芦原科学大賞

テーマ 世界最大の加圧式船用液化ガスタンクの開発

受賞者：泉鋼業株式会社 村岡幸英、大浦幸樹、児山陽子

推薦者：泉鋼業株式会社 代表取締役社長 富家 孝明

業績

受賞者は、世界規模で液化ガスの需要が急増する中、加圧式運搬船では困難とされてきたタンクの大容量化を実現し、併せて設計基本承認(AiP)を取得した。実現にあたっては、国内外の厳しい規制をクリアする必要があったが、協力メーカーと共に研究と改良を重ねた結果、鋼板の厚さ50mmを超える3タイプのタンクを開発した。本技術の開発により、インフラ設備の整っていない地域での荷役への対応だけでなく海上基地としての役割も担うことが可能となった。

受賞者のコメント

栄誉ある芦原科学大賞を賜りまして、誠にありがとうございます。大変光栄に思うと同時に、身の引き締まる思いです。誠実でチャレンジングなものづくりをモットーとして、今後もお客様の信頼に応える製品を提供するとともに、更なる技術開発に取り組み、香川の産業発展に貢献していく所存です。



▲加圧式運搬船



▲新規開発した6,500m³タンク

芦原科学功労賞

テーマ 高所での塗装作業を安全かつ効率的に行う塗装器の開発

受賞者：テクノ・サクセス株式会社

遠藤 彰、池内 宏行、須藤 昌明、三好 泰弘、佐倉 弘太郎

推薦者：テクノ・サクセス株式会社 代表取締役社長 久保 有一郎

業績

受賞者は、送電鉄塔など社会インフラの長寿命化に向けた塗装作業を安全かつ効率的に実施できる新たな塗装器を開発した。従来の塗装作業とは異なり、装着式とすることで搭上移動や作業負荷の軽減を図る一方、チューブポンプを利用して塗料タンクから手元の刷毛まで塗料を供給する装置として一体化させることにより、作業性と安全性を大きく向上させた。汎用性の高い本塗装器の普及により、社会インフラの長寿命化及び地域の活性化が期待できる。

受賞者のコメント

栄誉ある芦原科学功労賞を賜り誠にありがとうございます。ご指導、ご協力いただきました関係者の皆様に深く感謝いたします。これからも、TSペインターのような、お客様に喜ばれる新しい製品・サービスをお届けできるよう精進していく所存です。



▲TSペインターⅢ型WLの装着状態例



▲18万7千ボルト送電鉄塔での塗装の様子

芦原科学奨励賞

テーマ 高精度特定計量器の開発及び型式承認取得

受賞者：宮本スケール 大岡 禎昭

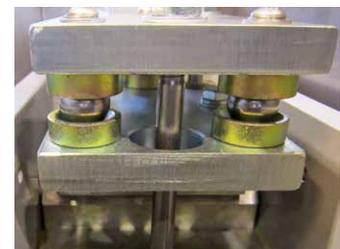
応募者：宮本スケール 代表 大岡 富美子

研究評価

受賞者は、様々な業界における計量器の変更仕様ニーズの高まりに的確に対応するため、非防爆計量器及び本質安全防爆構造「Exia II BT4」に適合した国内初の高精度な特定計量器を開発した。秤台への衝撃を緩和する新伝達機構の開発等を通じて、計量器の一目盛を既存品の10分の1に小さくしたことで、これまで以上に高精度の計量が可能になった。今後、既存の汎用計量器から高精度計量器への置き換わりが進む中で、地域や産業の発展に大きく寄与することが期待できる。

受賞者のコメント

この度は名誉ある芦原科学奨励賞を賜り、誠にありがとうございます。計量器業界は、ものづくり技術を支える重要な基盤であります。今後も、受賞を励みに高精度域での適正取引・適正計量の定着を推進することで社会に貢献していけると考えており、さらなる商品開発にも取り組んで参ります。



▲新伝達機構 (MSフローティング機構)



▲高精度特定計量器の内部構造

「かがわビジネスモデル・チャレンジコンペ2021」 受賞者が決定！！

公益財団法人かがわ産業支援財団では、香川の将来を担う革新的ベンチャー企業の創出・育成を図るため、創造的な技術や商品、サービスなどを自ら新規に開発し、新たな顧客や付加価値を創造しようとする、独創的なビジネスプランを昨年9月から11月にかけて募集しました（平成23年度から年1回開催で、今回で11回目）。

今回は22件の応募があり、このうち書類選考を突破した6プランの公開プレゼンテーションによる最終選考が、去る2月8日、サンメッセホール大会議室（サンメッセ香川2階）にて開催され、最優秀賞1件、優秀賞2件が選定されました。

受賞者とビジネスプランは、次のとおりです。



「かがわビジネスモデル・チャレンジコンペ2021」

最優秀賞

新事業名 健康産業向けエビデンスビジネスの確立

受賞者: 一般社団法人 香川県運動推進協会 代表理事 安部 武矩／丸亀市

事業内容

当事業は、人が生活を営む上で使用している健康に関わる商品やサービスが、私たちの健康にとって本当に有益な商品・サービスであるかを客観的に調査・測定し、適正に評価することである。当事業を通して、中小企業の新商品開発、そして商品力向上に貢献することを目的とする。事業内容は、①消費者へのニーズ調査、②商品・サービスの効果測定及び評価、③新商品・サービスの研究開発コンサルティングを想定している。

受賞者のコメント

私たちは、県内各地で幼児から高齢者と幅広い対象者に運動指導を行う指導者集団です。日々運動指導を行う傍ら、参加者からは健康に関連する商品やサービスの改善点やニーズをよく聞いていました。今回、同コンペにてご提案させていただいたエビデンスビジネス（調査事業）は、そういった消費者のリアルな声を当協会が開発元の中小企業の方々にお届けする、いわば消費者と中小企業の架け橋となる事業です。「消費者に長く愛される、本当に価値のあるモノを開発したい!!」と熱い思いを持った企業のお役に立てる意義深い事業だと確信しております。受賞後のこれからが正念場。「運動を通じて、心と体を笑顔にする」という団体理念の元、エビデンスビジネスに協力して下さる大学や研究機関、企業の皆さまとワンチームで精一杯取り組んでまいります。どうぞ皆さま、ご期待ください。

③新商品の研究開発コンサルティング



優秀賞

新事業名 所有の概念を変えるBONSAI NFTの開発・販売

受賞者: 玉井 謙二／高松市

事業内容

時代を変えるテクノロジーと言われるブロックチェーン・NFTを使い、物に依存しない盆栽の所有体験を実現する。盆栽の管理は難易度が高い上、現代の住環境に合わない。また、何十年もかけて作ったものを売り切るだけのビジネスは、持続可能と言えない。本事業は、ブロックチェーン・NFTを使うことで、棚の盆栽から収益を生むことができる。デジタルテクノロジーで所有の概念を変え、香川の盆栽産業を持続可能にする。



優秀賞

新事業名 プラスチックと紙が調和した、誰もが地球にやさしい
取組みに参加できる新製品の開発

受賞者: 川崎 功雄／観音寺市

事業内容

普段誰もが使用し、現在特にコロナ禍で消費量が急増しているウェットティッシュのプラスチック製容器に着目、従来100%プラスチックの本体部を、紙と自然由来のバイオマス原料といった環境にやさしい素材に代替した新たな製品の開発に取り組むことで、普段のライフスタイルを変えることなく、誰もがプラスチックごみの削減に貢献するなどのSDGsの取組みに参加でき、きれいな地球を未来に残していく持続可能な社会の実現を目指す。



創業・新事業創出等支援

新規創業・創業後支援事業(企業支援課)

創業を目指す方を対象として、必要な知識等に関する講義、創業計画作成演習等を内容とする創業支援塾を開講する。また、創業後間もない方を対象に、個別課題に対する相談窓口を設け、創業者の事業成長の促進と廃業の抑止等につなげる。

よろず支援拠点事業(企業支援課)

中小企業や小規模事業者への支援体制を強化するため、国からの委託により設置した「よろず支援拠点」に、チーフコーディネーター1名と複数のコーディネーターを配置し、他の支援機関とも連携しつつ、総合的・先進的経営アドバイスの提供や個別事案に最適な支援チームの編成等によるワンストップ総合支援を行う。

農業の6次産業化等促進事業(ファンド事業推進課)

農林漁業者の6次産業化を支援するため、「かがわ6次産業化推進センター相談窓口」を設置し、専門家等の派遣や各種セミナーを開催し、個別指導や助言を行う。

相談事業(企業支援課)

新事業展開等に取り組む県内企業のために、総合相談窓口を設置し、様々な分野の専門家による経営・技術指導や簡易経営診断を行う。また、地域の支援機関と連携を図るため、産業支援機関連絡会議を開催する。

- 窓口相談: 月・火・水
- 相談会: 年2回程度(不定期)
- 産業支援機関連絡会議: 5月頃開催

プロフェッショナル人材戦略拠点事業(企業支援課)

地域の中小企業の「攻めの経営」や経営改善への意欲を喚起するとともに、民間人材ビジネス事業者等と連携し、企業とプロフェッショナル人材とのマッチングを支援することで、プロフェッショナル人材の活用を促進し、企業の経営革新を促し、地域と企業の成長戦略の実現を支援する。また、兼業・副業等の多様な人材活用を促進するほか、県内企業の経営者や都市圏のUJIターン希望者向けのセミナー等を開催する。

助成

新かがわ中小企業応援ファンド等事業(ファンド事業推進課ほか)

「新かがわ中小企業応援ファンド」の運用益等を財源に、独創的な研究開発や販路開拓、生産性向上、人材育成などの事業に助成する。

起業等スタートアップ支援事業(企業支援課)

県内で創業等を行う者に対し、その初期投資に必要な経費の一部を補助することにより、創業等の促進を図る。

(対象事業)

- 地域課題解決型: 社会的事業分野(事業承継者、第二創業者の場合は、Society5.0関連業種等の付加価値の高い産業分野に限る。)において、地域の課題の解決に資する事業

中小企業後継者育成事業(総務課)

中小企業の経営者や後継者の育成を目的に、中小企業大学校が実施する各種研修や香川大学大学院地域マネジメント研究科に派遣する際に必要な経費の一部を助成する。

感染症・災害対応製品開発促進事業(技術振興部)

感染症対策や災害現場等において必要とされる製品を県内企業が新たに開発する場合に、その開発費用の一部を助成する。

販路開拓

広域商談会開催事業(取引支援課)

四国4県合同の「モノづくり広域商談会」を11月頃にサンメッセ香川で開催する。

かがわものづくり新技術展示商談会開催事業(取引支援課)

県内企業の優れた技術・製品を大手企業に直接PRする展示商談会を開催し、新規取引の開拓及び広域的な受注機会の増大を図る。

次世代有望分野展示商談会事業(産学官連携推進課)

県内企業の成長分野等(エネルギー・環境、ロボット、自動車関連など)への進出を支援するため、「機械要素技術展」などに「かがわ次世代ものづくり研究会ブース」を出展する。

食品商談会開催事業(企業支援課)

大都市圏等のバイヤーと県内食品産業各社(セラー)とのマッチングを行う商談会を開催する。

食品見本市出展事業(企業支援課)

香川県食品産業の魅力を発信するとともに、県内食品関連企業の販路開拓を支援するため、国内最大級の食品関連見本市である「スーパーマーケット・トレードショー」等に、香川県ブースを出展する。

地域資源販路拡大支援事業(ファンド事業推進課ほか)

地域の資源を活用して行う商品開発やブランド力強化、販路拡大などを支援するため、展示会出展などの機会を提供するとともに、芸術とのコラボによる新商品・ブランド開発を支援する。

海外展開支援

地域企業海外販路開拓支援事業(海外展開支援室)

経済のグローバル化が進展し、地域産業においても、海外の市場に目を向け、販路開拓を推進することが求められている中で、新たな海外向けの販路開拓を中心とした各種支援を行う。

施設利用

頭脳化センター等施設提供事業(施設管理課)

頭脳化センタービル内の「インキュベータールーム」や「ITスクエア」のほか、多目的に利用できる会議室を提供する。また、県有施設「ネクスト香川」・「FROM香川」の管理運営を行う。

顕彰

かがわ型新ビジネスモデル奨励事業(企業支援課)

創造的な技術や商品、サービスなどを新規に開発し、新たな顧客や付加価値を創造しようとする、独創的なビジネスプランを募集してコンペを行い、最優秀賞受賞者の事業に要する経費を助成する。

芦原科学賞(産学官連携推進課)

高松市出身の故芦原義重氏(関西電力名誉会長)からの寄付金を基金として、県内の産業技術の高度化及び産業の振興に寄与した研究者等を顕彰する。

産業技術の高度化

先端技術成果実用化支援事業(技術振興部)

希少糖や糖鎖・複合糖質などの糖質バイオ分野の事業化を支援するため、かがわ糖質バイオフォーラムの運営を行い、研究成果の情報発信や人的ネットワークの構築を図る。

健康関連製品開発推進事業(技術振興部)

健康関連分野での製品開発を推進するため、専門家による事業マネジメント相談会や健康関連製品等の大型展示会出展に対する支援などを行う。

研究開発

研究開発事業(地域共同研究部)

これまでの研究活動により蓄積された高温高压流体技術等を活用し、社会的課題を踏まえたテーマを中心に企業との共同開発研究、開発可能性研究、受託研究を推進する。また、超臨界流体技術を活用した親油化CNF開発研究や食品成分抽出の調査研究を行うとともに、マイクロ波技術による水産加工品の高品質化製品の開発研究を行う。さらに、実験機器開放や技術指導実験等による新商品開発等の相談・指導

を行い、企業等の技術開発を支援する。

食品産業支援事業(地域共同研究部)

「かがわ機能性食品等開発研究会」及び「かがわ冷凍食品研究フォーラム」を運営するとともに、「新機能性表示食品開発相談センター」において機能性表示食品届出に関する技術指導・相談や届出支援受託業務を行う。

知的財産の活用支援

知財総合支援窓口運営事業(知的財産支援課)

「知財総合支援窓口」を設置・運営し、知的財産の専門知識を有する窓口支援担当者等が、知財専門家(弁理士・弁護士等)と協働し、各種専門家や支援機関と連携して、中小企業等が抱える知的財産に関する悩みや課題をワンストップで解決できる相談・支援を行うとともに、知的財産セミナー等の開催や中小企業等への個別訪問など、知的財産の重要性等の普及啓発を行う。

中小企業等外国出願支援事業(知的財産支援課)

中小企業者における戦略的な外国への特許出願等を促進するため、県内中小企業等の外国への特許等の産業財産権の出願に要する費用の一部を助成する。

香川県発明協会事務運営事業(知的財産支援課)

一般社団法人香川県発明協会が行う発明奨励事業や青少年の創造性開発育成事業等の事務を運営するほか、知的財産権制度の普及を行う。

知的財産支援事業(知的財産普及課)

「香川県知的所有権センター」を設置・運営し、知的財産の活用を普及する特許流通コーディネーター等が、知的財産の活用に関する情報を収集・提供するとともに、県内企業への訪問等を通じて、知的財産の活用に向けた相談・支援や普及を行う。また、県内中小企業等が行う、海外で冒認出願された商標への異議申立てに要する経費の一部を助成する。

知的財産活用促進事業(知的財産普及課)

知的財産を活用した経営に取り組む県内企業等を対象に、かがわ知財経営塾等を開催するとともに、大企業等の開放特許等を県内企業等に紹介するなど、知財マッチングの機会を提供する。

その他

地域技術事業化推進事業(技術振興部ほか)

香川大学大学院地域マネジメント研究科との連携協定に基づき、同科の後期日程で県内中小企業経営者等を講師とする講座(全15回)を提供する。

事業名	事業内容	4年度事業内容
「かがわ希少糖ホワイトパレー」プロジェクト事業 予算額(千円) 27,943 担当課 産業政策課 電話番号 087-832-3352	希少糖を本県産業の成長につなげるため、希少糖を用いた食品の開発支援や、希少糖商品の販路拡大の促進などを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ○希少糖拠点機能強化事業 <ul style="list-style-type: none"> ●希少糖を用いた地域食品の開発支援 ○糖質バイオ商品開発支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ●糖質バイオ分野における事業化補助 ○香川の希少糖ブランド化推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ●首都圏の国際食品見本市への出展支援
オリーブ産業強化プロジェクト事業 予算額(千円) 3,729 担当課 産業政策課 電話番号 087-832-3352	県産オリーブオイルの世界最高水準化を目指すため、オイルの品質向上に必要な技術の高度化を図るとともに、新たなオリーブ商品の開発を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ○オリーブ商品高品質化支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ●オリーブ製品の開発支援 ●オリーブ産業に従事する技術者の基盤強化
感染症・災害対応製品開発促進事業 予算額(千円) 11,497 担当課 産業政策課 電話番号 087-832-3352	新型コロナウイルス感染症の感染拡大や自然災害の多発により生じた新たな需要に対応した製品の開発を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ○感染症・災害対応製品開発促進事業 <ul style="list-style-type: none"> ●感染症や災害に対応した製品の開発に要する経費を補助 ○かがわ健康関連製品開発フォーラムの運営 <ul style="list-style-type: none"> ●健康関連分野の展示会への出展支援・薬事マネジメント相談会の実施
次世代ものづくり産業育成事業 予算額(千円) 167,854 担当課 産業政策課 電話番号 087-832-3348	本県の強みである、ものづくり基盤技術産業と食品産業の振興を図るため、将来の成長が有望な分野における研究開発や新商品開発の支援、展示商談会などを活用した販路開拓・受注拡大の支援、地域産業に必要な人材の育成支援などを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ○かがわSociety5.0(超スマート社会)推進事業 ○海洋プラスチックごみ対策等環境負荷低減製品開発支援事業 ○次世代3D積層造形技術関連産業育成事業 ○ものづくり基盤技術高度化支援事業 ○機能性食品産業強化事業 ○機能性食品開発支援事業 ○発酵食品関連産業強化事業 ○冷凍食品産業基盤強化事業 ○エネルギー関連産業育成支援事業 ○マーケティング力強化支援事業 ○戦略的マッチング推進事業 ○グローバル技術人材育成事業
かがわSociety5.0(超スマート社会)推進事業 予算額(千円) 101,427 担当課 産業政策課 電話番号 087-832-3348	AI、IoTといった先端技術をあらゆる産業に取り入れることにより、人手不足を含めた社会課題を解決できる社会システムである「Society5.0」を推進することで超スマート社会の実現を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ○かがわAI+活用支援事業 ○AI等先端技術活用型研究開発支援事業 ○中小企業デジタル化推進支援事業 ○スマートファクトリー活用等事業
貿易・国際投資支援事業 予算額(千円) 22,216 担当課 産業政策課 電話番号 087-832-3353	ジェットロ香川の機能を活用して、県内企業等の海外展開の支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ○ジェットロ香川に設置した「香川県海外ビジネス展開促進センター」において、海外展開に関心のある県内企業等に対して企業訪問し、ニーズに合わせた情報提供、アドバイス、支援事業等の紹介 ○海外展開の実現に向けたきめ細かな支援 ○「海外ビジネス人材育成講座」の開催 など
アジアビジネス展開支援事業 予算額(千円) 5,957 担当課 産業政策課 電話番号 087-832-3353	東南アジア等への販路拡大のため現地企業等とのマッチング機会を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> ○タイ・オンライン商談会開催 ○FBCアセアン2022ものづくり商談会出展支援
直行便就航国・地域ビジネス展開支援事業 予算額(千円) 8,449 担当課 産業政策課 電話番号 087-832-3353	高松空港の国際線就航地域との経済交流をより一層促進するため、県内企業の直行便就航国・地域へのビジネス展開を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ○台湾販路開拓支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ●台湾政府機関及び経済団体との共催による香川県台湾商談会の開催 ○上海ビジネス展開支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ●上海地域における県内企業の現地視察や販路開拓等に対する支援
海外ビジネスチャンス活用支援事業 予算額(千円) 2,000 担当課 産業政策課 電話番号 087-832-3353	県内企業の海外展開の状況に応じて、準備段階から契約段階に至るまで総合的な支援を行う。特に、直行便就航地域を対象とするものについては、重点的な支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ○海外新展開現地調査事業 <ul style="list-style-type: none"> ●直行便就航地域への進出等のため現地調査に要する経費を補助 ○海外ビジネス多言語情報発信事業 <ul style="list-style-type: none"> ●対象国・地域の言語等でホームページ・パンフレット等の作成に要する経費を補助 ○海外ビジネス展開専門家活用事業 <ul style="list-style-type: none"> ●契約書作成などを行うために弁護士等の専門家への相談等に要する経費を補助
知的財産推進事業 予算額(千円) 15,496 担当課 産業政策課 電話番号 087-832-3352	県内企業に対する知的財産の普及啓発を図るとともに、県内企業による知的財産の創造・保護・活用を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> ○知的財産活性化事業 <ul style="list-style-type: none"> ●香川県知的所有権センターの設置 ●「かがわ知財経営塾」「知財マッチングinかがわ」の開催 ○知的財産推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ●海外で冒認出願された商標への異議申立てに要する経費を補助
企業誘致助成制度 予算額(千円) 2,454,636 担当課 企業立地推進課 電話番号 087-832-3354	県内に工場、試験研究施設、情報処理関連施設、物流拠点施設、地方拠点強化施設等を設置する企業に対して助成金を交付することにより、企業立地を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> ○助成対象：工場や試験研究施設等の区分に応じて定める投下固定資産額、新規雇用等の要件を満たすもの ○助成額：投下固定資産額等を基礎に算出した額(対象施設の区分により助成率が異なる) ※工場の場合 <ul style="list-style-type: none"> ●助成率 投下固定資産額の10% ●投下固定資産額が10億円を超える部分については助成率を5ポイント引き下げ ●10人を超える新規常用雇用に対する助成あり ●助成限度額 5億円

事業名	事業内容	4年度事業内容
地域未来投資促進法 支援制度 予算額(千円) ー 担当課 企業立地推進課 電話番号 087-832-3354	地域の特性を生かして高い付加価値を創出し、地域の事業者に対する経済的波及効果を及ぼすことにより地域経済を牽引する事業(地域経済牽引事業)を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ○要件 <ul style="list-style-type: none"> ①着手前に県に地域経済牽引事業計画を申請し、承認を受けること。 ②資産取得前に国に先進性の確認申請を行い、先進性の確認を受けること。 ○優遇措置 <ul style="list-style-type: none"> 不動産取得税の免除(土地は対象施設の水平投影面積に限る) ※その他、国税の優遇措置あり
事業承継支援事業 予算額(千円) 3,281 担当課 経営支援課 電話番号 087-832-3345	専門事業者を活用した事業承継計画の策定等への補助や事業承継税制の認定を通じて、円滑な事業承継を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ○事業承継支援事業費補助金 <ul style="list-style-type: none"> ●支援機関の支援を受けたうえで、専門事業者に対して委託する経費の一部を補助 ①事業承継計画の策定等 補助率 1/2(上限30万円) ②M&Aの仲介委託等(譲渡側に限る) 補助率 1/3(上限30万円) ○事業承継税制の認定 <ul style="list-style-type: none"> ●事業承継の際の相続税・贈与税の納税猶予を受けるための認定
中小企業BCP策定 運用促進事業 予算額(千円) 6,305 担当課 経営支援課 電話番号 087-832-3345	県内中小企業が災害等による事業資産の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続や早期復旧ができるようBCP(事業継続計画)策定を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> ○中小企業BCP策定セミナー <ul style="list-style-type: none"> ●中小企業を対象にした、BCP策定セミナーの開催 ○中小企業BCP個別相談会 <ul style="list-style-type: none"> ●各中小企業が抱える個々の課題についての具体的解決に向けて、個別相談会を開催 ○中小企業BCP策定等支援補助 <ul style="list-style-type: none"> ●専門家の指導等によりBCPの策定・見直しを行った際の経費の一部を補助(補助率1/2、補助上限50万円、製造業のみ) ○香川県中小企業BCP優良取組事業所認定 <ul style="list-style-type: none"> ●BCPを策定し、事業継続に取り組む中小企業のうち、優れた取組を行っている企業を認定
県内中小企業設備投資 資金利子補給補助事業 予算額(千円) 97,100 担当課 経営支援課 電話番号 087-832-3345	製造業を営む中小企業者の経営基盤の強化や新分野進出などの積極的な事業展開を促進するため、県内中小企業者が行う設備投資のための事業資金の借入金に対する利子補給補助を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ○補助対象者 <ul style="list-style-type: none"> ●県内に本社又は事業所を有する中小企業者(製造業)で、設備投資のために1,000万円以上の資金借入を行ったもの(BCP(事業継続計画)の策定が必要) ○補助対象となる設備投資 <ul style="list-style-type: none"> ●県内における製造業のための工場又は試験研究施設の新築若しくは増改築又は取得並びに機械及び装置の取得 ○補助率 <ul style="list-style-type: none"> ●資金借入に伴う利子のうち年利1%以下で算定期間内に支払われた額の3/4 ○補助期間 <ul style="list-style-type: none"> ●最初の利子が支払われた日から起算して7年以内 ○補助金額の上限 <ul style="list-style-type: none"> ●100万円/年(香川県中小企業BCP優良取組認定事業所は200万円/年)
中小企業振興融資 予算額(千円) 39,220,000 担当課 経営支援課 電話番号 087-832-3347	県信用保証協会の保証制度を活用し、取扱金融機関と協調して融資を行い、県内中小企業等の事業資金調達の円滑化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○新規創業支援 ○経営安定支援 ○商店街支援 ○経営革新支援 ○企業立地支援 ○事業承継支援 詳しくは「香川県商工労働部経営支援課ホームページ」参照 https://www.pref.kagawa.lg.jp/keiei/youushi/youushi.html
かがわで就活! 応援事業補助金 予算額(千円) 600 担当課 就職・移住支援センター(ワークサポートかがわ) 電話番号 087-802-4700	ワークサポートかがわでは、県内企業の人材確保拠点として求人・求職のマッチング支援と県内企業の情報発信に取り組んでいる。県外からの就職を支援するため、県外在住の学生が、香川県内で合同就職面接会、企業見学会、インターンシップに参加するときの交通費を助成する。	<ul style="list-style-type: none"> ○補助対象者 <ul style="list-style-type: none"> 県外に在住する学生であって次のいずれかの者 (1)「jobナビかがわ」に登録し、香川県等が主催する合同就職面接会に参加する者 (2)「インターンシップナビかがわ」に登録し、香川県等が主催する企業見学会に参加する者 (3)「インターンシップナビかがわ」に登録し、「インターンシップナビかがわ」で募集する県内企業で実施するインターンシップに参加する者 ○補助対象経費 <ul style="list-style-type: none"> ●現住所(県外住所地)から県内の目的地までの間を経済的合理的な経路で往復移動するときに要する交通費 ○補助限度額 <ul style="list-style-type: none"> ●10,000円
働き方改革推進 助成事業 予算額(千円) 4,600 担当課 労働政策課 電話番号 087-832-3366	「かがわ働き方改革宣言」を行い、働き方改革に取り組む県内に事業所を有する中小企業等に対し、職場環境の整備等に要する経費の一部を助成する。	<ul style="list-style-type: none"> ○補助対象者 <ul style="list-style-type: none"> ●県内に本店、支店、営業所等を有する中小企業等 ○補助対象経費 <ul style="list-style-type: none"> ●テレワークの実施やWEB会議等に必要の情報通信機器等の購入、就労環境改善のための設備導入、就業規則の整備等に要する経費 ○補助率等 <ul style="list-style-type: none"> ●補助率1/2 補助上限額30万円
外国人雇用促進事業 予算額(千円) 31,368 担当課 労働政策課 電話番号 087-832-3400	県内事業所や外国人材からの、雇用等に関する相談を総合的に受け付ける窓口の運営や、外国人材の受入れ・定着・活躍を促進するための補助等を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ○外国人労働人材関係相談窓口の運営 ○留学生等に対する県内就職支援 <ul style="list-style-type: none"> ●留学生等と企業との交流会・合同企業説明会の開催 ○外国人材の適正な受入れなどを内容とするセミナーの開催 ○外国人材活躍支援 <ul style="list-style-type: none"> ●県内企業等が外国人材の日本語能力向上のために行う事業の経費を補助率1/2、補助上限額20万円で補助 ●県内企業等が外国人材の受入環境を整備する事業の経費を補助率1/3、補助上限額10万円で補助 ○外国人材入国時待機費用支援 <ul style="list-style-type: none"> ●県内の事業所で外国人材を雇用する事業者が新型コロナウイルス感染症の水際対策として実施する入国時待機に係る宿泊費用を補助率1/3、補助上限額30万円で補助

新かがわ中小企業応援ファンド等事業の 令和4年度の支援事業が決定しました!!

財団では、平成30年度から新かがわ中小企業応援ファンド等事業を開始し、県内中小企業者等に対して、研究開発から販路開拓、生産性向上、人材育成まで総合的な支援を行っています。また、令和4年度は、県内の中小企業者がコロナに対応し、SDGsの達成やDXの推進に向けて取り組む新製品・新技術の開発やビジネスモデルの変革、オンラインによる販路開拓などを支援するメニューを設けています。

令和4年度の助成事業について、令和3年11月12日から令和4年1月27日まで募集を行ったところ49件の申請があり、審査の結果、支援対象事業39件を決定しました。

① 新分野等チャレンジ支援事業

採択7件 採択額 6,460千円

	テーマ	事業者	採択額(千円)
1	庵治石を再活用したアーティスティック香炉の開発	(株)一(高松市)	973
2	日本初、純国産シーアスパラガス(アッケシソウ)の周年栽培システムの開発	協和化学工業(株)(高松市)	999
3	マグネットを使った高気密玄関引き戸の開発	(有)シティング(高松市)	1,000
4	歩行安定のための機能性ホルダーの改良・開発	徳武産業(株)(さぬき市)	843
5	しぼりたて醤油を楽しむ 樽型もろみ絞りセット製作	丸島醤油(株)(小豆島町)	845
6	香川県の逸品かしわバター 製品開発	(株)まんでがん(善通寺市)	1,000
7	eスポーツ市場進出の為の新商品開発	(株)レガン(三木町)	800

② 競争力強化研究開発支援事業

採択9件 採択額 42,359千円

	テーマ	事業者	採択額(千円)
1	義肢装具業界向け「見える化装具製作予定システム」の研究開発	ケイ・タス(株)(高松市)	5,000
2	建設現場用量産型重量物運搬ロボットの開発	建ロボテック(株)(三木町)	5,000
3	食品熱交換装置(X-Charge unit:XCU)の大型化及び連結仕様の開発	(株)XEN GROUP(高松市)	5,000
4	建設現場用耐圧安全手袋の開発	(株)ダイコープロダクト(さぬき市)	5,000
5	農業分野向けIoTソリューション(農業環境監視システム)の開発	(株)DynaxT(高松市)	4,980
6	協働ロボットを活用した、可搬式筐体溶接システムの開発	奈良電機重工(株)(綾川町)	5,000
7	アトピー性皮膚炎に伴う皮膚の外観変化を改善する成分の開発	(株)伏見製薬所(丸亀市)	5,000
8	使い捨て容器の概念を変えた機能・強度を有する容器の開発	松浦産業(株)(善通寺市)	2,379
9	草木残渣等用のバイオコークス量産製造システムの開発	(株)レクザム(高松市)	5,000

③ ものづくり生産性向上・スキルアップ支援事業

採択2件 採択額 2,029千円

	テーマ	事業者	採択額(千円)
1	HACCP認定取得から管理体制の構築による企業価値の拡大と利益率向上	(株)開洋(東かがわ市)	1,213
2	オーガニック認証スティック充填加工受託工場の安全・安心な製品・サービスを提供できる仕組みの確立	柿茶本舗(有)(坂出市)	816

④ 創業ベンチャー支援事業

採択1件 採択額 1,962千円

テーマ	事業者	採択額(千円)
1 認知症当事者と介護家族の「はたらく支援」と「居場所づくり」	藤村 拓(高松市)	1,962

【かがわビジネスモデル・チャレンジコンペ枠】

採択額 2,000千円

テーマ	事業者	採択額(千円)
1 健康産業向けエビデンスビジネスの確立	一般社団法人香川県運動推進協会(丸亀市)	2,000

⑤ 農商工連携支援事業

採択3件 採択額 6,000千円

テーマ	事業者	採択額(千円)
1 県産木「100%メイドイン讃岐プロジェクト」の実証	香川県家具商工業協同組合(高松市) (連携体:香川県森林組合連合会(高松市))	2,000
2 県産大豆等を使用したハンバーグ等加工品の開発と販路開拓	(有)黒川加工食品(高松市) (連携体:橋本農産(高松市))	2,000
3 「はざまいちじく」の葉っぱ加工商品開発と販路拡大	(株)TKGアグリ(観音寺市) (連携体:(株)Bettim(まんのう町))	2,000

⑥ -1 withコロナ対応支援事業(商品・技術開発枠)

採択5件 採択額 6,991千円

テーマ	事業者	採択額(千円)
1 ドライ方式による有用金属の回収システムの実証試験	四国アセチレン工業(株)(丸亀市)	2,000
2 掲示板型マッチングサイト構築による遊休不動産活用促進スキームの開発	(株)フケプロダクト(坂出市)	1,155
3 RFIDの自動認識技術を利用した物流DXの推進	(株)FUJIDAN(東かがわ市)	538
4 食品加工業の弊社がSDGs宣言で社会に貢献できること	(株)八栗(高松市)	2,000
5 害獣の皮を活用した継続的なビジネスモデルの構築とSDGsの取り組みを実施する	(株)レガン(三木町)	1,298

⑥ -2 withコロナ対応支援事業(販路開拓枠)

採択11件 採択額 3,850千円

テーマ	事業者	採択額(千円)
1 2022NEW環境展	(株)エコマスター(三豊市)	350
2 香川県の観光とウエディングを繋ぐサイトづくり	(株)etowa(高松市)	350
3 第6回「日本の食品」輸出EXPO	鎌田醤油(株)(坂出市)	350
4 ECサイト出店に係るオリジナルホームページ作成	合同会社SEEKER JAPAN(さぬき市)	350
5 赤外線カメラによるガス可視化検査サービス販路開拓事業	(株)Soilook(高松市)	350
6 【日本の食品】輸出EXPO2022に出展	宝食品(株)(小豆島町)	350
7 展示会「バリアフリー2022」への出展事業	日本メディカル(株)(高松市)	350
8 Webによる東南アジアBtoB販路開拓事業	(有)ファイエット(東かがわ市)	350
9 「ふつうの段ボールは売らないECショップ」の新規構築	(株)FUJIDAN(東かがわ市)	350
10 取扱商品「INFUSION」のECサイト構築及びオンライン販売促進事業	Portier(三豊市)	350
11 HP改良によるペット用商品を始めとしたwithコロナ販路拡大事業	山地蒲鉾(株)(観音寺市)	350

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 総務部 ファンド事業推進課
高松市林町2217-15 TEL.087-868-9903 FAX.087-869-3710

かがわ冷凍食品研究フォーラム 第9回シンポジウムを開催しました！

平成25年度に設置した「かがわ冷凍食品研究フォーラム」(会長:香川短期大学 竹安 宏匡名誉教授)第9回シンポジウムを11月18日(木)にサンメッセ香川で開催しました。(参加者:56名)

参加者からは、同じ経営者として非常に刺激を受け、業種は異なるが内容は我々にも当てはまるテーマで理解しやすかった、介護食と言う分野に対し、SDGsなどの取り組みを合わせて挑戦する姿勢が興味深かった、冷凍食品の開発において、課題が出たときに協力してほしい等の意見がありました。



【講演】

演題

「冷凍食品メーカーと新型コロナウイルス～変化したこと、変化させたこと、変化させること～」

講師

サヌキ畜産フーズ株式会社
代表取締役社長 増田 浩氏

【事例発表①】

演題

「食のバリアフリーと今後の取り組み」

発表者

株式会社フードテック
取締役 新田 一平氏

【事例発表②】

演題

「香川県内冷凍調理食品製造業の支援について」

発表者

香川県産業技術センター食品研究所
主任研究員 田村 章氏



お問い合わせ先

財団法人かがわ産業支援財団 地域共同研究部 研究開発課
高松市林町2217-43 RISTかがわ TEL.087-869-3440 FAX.087-869-3441

かがわ健康関連製品開発フォーラム 令和3年度セミナーを開催しました

令和4年1月21日(金)、香川産業頭脳化センタービル2階一般研修室(オンライン同時配信)にて、「かがわ健康関連製品開発フォーラム令和3年度セミナー」を開催しました。(参加者:45名)

セミナーでは、香川大学と大倉工業(株)が協働して取り組んだ、コロナ禍における医療現場のニーズを基にした製品開発事例と、産業技術総合研究所四国センターの「身動作解析産業プラットフォーム」の取組みについて、ご講演いただきました。参加者からは、「製品開発におけるデザイン面からのアプローチは興味深かった」「弊社製品の検証でプラットフォームを利用したい」などの声がありました。



【プログラム】

講演①

「内視鏡用ウイルス感染防御システム「Endo barrier®」の製品開発について」

大倉工業株式会社 取締役執行役員 新規材料事業部長 植田 智生氏
香川大学創造工学部 教授 大場 晴夫氏

講演②

「ヘルスケア・医療産業の創出に向けた身体動作解析産業プラットフォーム」

国立研究開発法人産業技術総合研究所 四国センター
所長代理(兼)健康医工学研究部門副研究部門長 大家 利彦氏

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 技術振興部 健康産業プロジェクト
高松市林町2217-16 FROM香川 TEL.087-840-0338 FAX.087-864-6303

金融機関向け知的財産セミナーと海外模倣被害対策セミナーを開催しました

一般社団法人愛媛県発明協会と連携し、香川・愛媛両県企業の海外展開のための知的財産トラブル対策支援事業として、連携機関である金融機関に向けての知的財産セミナー「海外進出における知的財産の留意点」を2回行った。

	第1回	第2回
開催日時	令和3年12月6日(月) 14:00~16:30	令和4年1月17日(月) 14:00~16:30
講師	河野特許事務所 所長 弁理士 河野 英仁氏	
内容	特許、実用新案、意匠の海外出願、中国で知的財産権が重要な理由など	商標の海外出願、中国商標対策、著作権、模倣品対策、税関登録、インターネット上の侵害対策など

受講された方から、「今後、知財の価値を融資判断に加えることができる。」というお声を頂戴しました。

	模倣被害報告会	模倣被害対策セミナー
開催日時	令和4年2月8日(火) 13:30~14:00	14:10~16:40
講師	公益財団法人かがわ産業支援財団 知的財産支援部	株式会社KyKインターナショナル 法務知財コンサルタント 相澤 良明氏
内容	香川・愛媛両県の模倣被害実態調査結果及び模倣被害事例	「中国で自社の事業を守るための攻防 知的財産権の活用と注意点」

受講された方から、「海外での模倣被害の具体的な事例などのお話が聞いて非常に参考になった。」「中国に特化して実際の経験を交えながら話してくれたので説明が分かりやすかった。」といったお声を頂戴しました。



かがわ産業支援財団



香川県発明協会

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 知的財産支援部 知的財産支援課
高松市林町2217-15 TEL.087-867-9332 FAX.087-867-9365

「第56回スーパーマーケット・トレードショー2022」に香川県ブースを出展

香川県の主要産業の一つである食品産業の魅力を発信するとともに、関連する企業の販路開拓を支援するため、国内最大級の食品関連見本市「第56回スーパーマーケット・トレードショー2022」に、(公財)かがわ産業支援財団が香川県ブースを出展しました。

1. 第56回スーパーマーケット・トレードショー2022の概要

会期	令和4年2月16日(水)～18日(金) 10:00～17:00 ※最終日は16:00まで	来場者数	42,885名
会場	幕張メッセ(全館)	主催	一般社団法人全国スーパーマーケット協会
特色	<ul style="list-style-type: none"> ● スーパーマーケット、百貨店、飲食店、卸、食品メーカー等のバイヤーが多数来場。 ● 小売企業の決定権を持つ経営者やバイヤーを積極的に招待。 ● 新型コロナウイルス対策を行って実施(試食・試飲も可)。 ● 県内企業が「香川県ブース」として共同出展することにより、地域産品を求めるバイヤーに効果的にPRできるとともに、出展費用を抑制。 		



2. 香川県ブースについて(2年ぶりの出展 平成22年度より実施)

出展規模	16小間(12.0m×12.0m)	出展場所	10ホール 10 - 508
出展者	29者(28社及び1グループ) (株)レアスウィート、小豆島オリブ(株)、石丸製麺(株)、千金丹ケアーズ(株)、高橋石油(株)、(株)トフラップ、生創石丸(株)、(同)藻塩工房、(株)山田家物流、柿茶本舗(有)、(有)キウイバードコーポレーション、(株)まんでがん、(株)讃岐物産、(株)エフディアイ、(有)さめぎ鳥本舗、仁尾興産(株)、(株)ミトヨフーズ、(株)共栄食糧、創麺屋(株)、タケサン(株)、丸島醤油(株)、(株)藤井製麺、(株)アグリオリブ小豆島、(株)サンコウフーズ、島乃香(株)、宝食品(株)、タケサンフーズ(株)、安田食品工業(株)、中川塾。		

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 企業振興部 企業支援課
高松市林町2217-15 TEL.087-840-0391 FAX.087-869-3710

「令和3年度 関西・四国合同広域商談会」を開催しました

令和4年2月上旬から中旬にかけて、WEB会議システムを利用したオンライン商談及びリアル(直接面談)商談を併用したハイブリッド方式で「令和3年度 関西・四国合同広域商談会」を開催。県内受注企業2社が参加しました。



開催日時	令和4年2月1～4日、7～10日(オンライン方式) 令和4年2月17,18日(対面式)	参加受注企業	オンライン商談 182社、 リアル商談 225社 計407社 (うち香川県2社(リアル1社、両方1社))
開催場所	京都バルスプラザ 1階 大展示場(京都府京都市)	面談件数	香川県8件
参加機関	関西6府県、四国4県、鳥取県の支援機関及び(公財)全国中小企業振興機関協会	面談結果	香川県受注企業(※速報値) ①見積依頼 :1件 ②情報交換のみ :7件 合計 :8件
対象業種	機械・金属加工、樹脂加工等		
参加発注企業	オンライン商談のみ41社、リアル商談のみ44社、両方10社 計95社(うち香川県1社 オンライン商談のみ)		

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 企業振興部 取引支援課
高松市林町2217-15 TEL.087-868-9904 FAX.087-869-3710

令和3年度 地域企業海外販路開拓支援事業 「海外展開の今がわかる!国際取引支援セミナー」を開催しました

令和4年2月22日(火)、一般会場の香川産業頭脳化センタービル2階一般研修室とオンライン会場のZoomウェビナー配信にて、「海外展開の今がわかる!国際取引支援セミナー」を2部構成で開催しました。

【開催概要】

受講者数 28名(うち一般会場 9名、オンライン会場 19名)

『第1部』ー基調講演ー

演題 海外展開はチーム戦!自社の強みと支援機関のサポートが水平線を切り拓く
～挑戦者よNATOとなることなかれ～

講師 株式会社サンテック 代表取締役社長 青木 大海 氏

『第2部』ーパネルディスカッションー

演題 今が何が起きている?香川県からの海外展開 ～実例を交えて～

パネリスト 株式会社ELN 代表取締役 木下 寛子 氏(海外からオンライン参加)
川鶴酒造株式会社 代表取締役 川人 裕一郎 氏
株式会社サンテック 代表取締役社長 青木 大海 氏

ファシリテーター 香川県よろず支援拠点 コーディネーター 藤田 仁美 氏



受講者の声

- 四国の企業があんなレベルまで国際化したのは素晴らしい。
- 具体的な事例を用いて頂き勉強になりました。
- 国別の実務的なマーケティングの話を知りたい。
- 今回のセミナーのように実際の社長の話が聞けるのはありがたい。

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 企業振興部 海外展開支援室
高松市林町2217-15 TEL.087-868-9904 FAX.087-869-3710

かがわ発! 元気創出企業



香川県内の元気な企業を訪問し、その企業が発展してきた過程と躍進を続ける今、そして未来への指針についてお聞きする「かがわ発! 元気創出企業」。今回は、丸亀市にある「株式会社菊井商会」を訪ねました。

1950年の創業以来、接着剤専門メーカーとして顧客のニーズに応えてきた菊井商会。丸亀の基幹産業であった丸亀うちわを貼り合わせる「でんぷんのり」からスタートし、木材や紙など、多孔質材料の接着剤を顧客ごとに開発するようになった。2015年にそれまで不可能とされていた生コンクリートにシートを接着させる「コンクリート保温保湿シート」を開発。トンネルや橋脚、ダム工事などに活用できることから建設・ゼネコン業界から注目を集めるように。その後も、保温保湿シートをリサイクル可能にするための改良や「コンクリート長寿命化フィルム」など、時代に合わせた商品開発を行っている。



コンクリート保温保湿シート
生コンクリートが均一に固化するようにコンクリートの表面に貼り付けて保温保湿する養生シート。大きな面積を覆うため、使用ごとのシートの廃棄はコスト面でも環境面でも課題だった。キレイにはがせ、再度の貼り付けが可能にすることでこれらの課題をクリアした。



長年培ってきた技術を活かして「不可能」を「可能」 ユーザーそれぞれのニーズに合わせてより良いものを

それまで不可能と言われていた コンクリートの養生シートを開発

丸亀うちわに使用するでんぷんのりの技術を活用し、お客様の要望に合わせてさまざまな接着剤を生み出してきた菊井商会。ユーザーごとに商品をつくり出していくというきめ細やかな姿勢は、創業以来、代々受け継いできたもの。現在、幅広い要望に応じて接着剤を開発しているのが、同社の3代目であり取締役の保井拓朗さんだ。

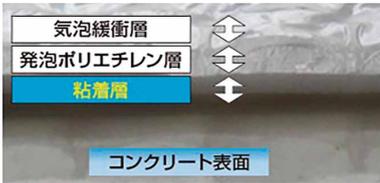
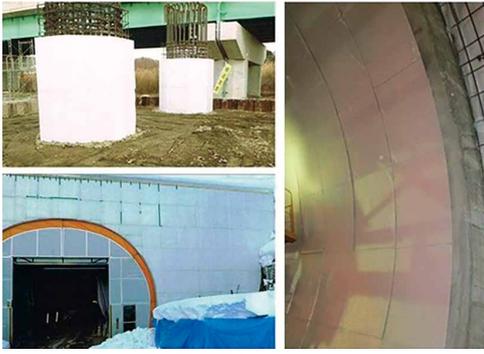
時代に合わせて変化しながら、木材や紙などの多孔質材料への接着剤などを柔軟な姿勢で生み出してきた同社に、ある時持ち込まれたのが「トンネルの施工や補修時にコンクリートの表面を覆うシートをつくれないうか」という相談だった。コンクリートは施工した後の一定期間、表面を密閉することで保温・保湿をする必要がある。だが、生コンには水分があるため接着剤で養生シートを貼りつけるのは不可能とされ、高所作業用の足場を設置するなどしてシートを補強するのが一般的だった。特殊な設備や専門の作業員が必要なため高コストになる従来工法。接着剤を塗布したシートを貼り付ける工法へと変更ができないか、という難題に対し「これまでに蓄積した技術があれば可能だ」と保井さんは快諾。開発と試作を重ね、2015年「コンクリート保温保湿シート」が誕生した。

コストダウンをさらに可能にし 環境にも優しいシートへと改良

特殊な再剥離粘着剤を塗布するこの保温保湿シートは特許も取得。2018年には、四国の産業技術発展のために貢献した企業に贈られる「四国産業技術大賞」で、最高賞の産業振興貢献賞を受賞した。

当初はシートを使用するごとに廃棄していたが、トンネルを中心に高速道路の橋脚、防波堤やダムなど200件以上もの工事に使用されるようになったこともあり、SDGsの観点から再利用が可能なものに改良できないかという声がユーザーから寄せられるようになった。

「もともと塗布しているのが再剥離できる粘着剤なので、粘着剤などの配合を変えれば、理論的には再利用できるものへの改良は可能」そう考えた保井さんが改良に取り組んでいた2020年の冬、新型コロナウイルスの影響によって建設業界全体がコストカットを余儀なくされるように。できるだけ早く再利用できるものへと改良してほしいという声が強くなる中で「いくつもの仮説を同時にたてて、配合を変えたテストピースを数種類用意して繰り返しテストするなど、開発のスピードを上げました」と保井さん。昨年には、大規模工事において実際に使用する最終チェックを終え、ついに今年、再利用可能なシートが完成した。



足場などを使用する従来型の工法から、保温保温シート工法に変えることで、1/3ほどのコストカットが可能。くり返し使用できるようになったことで、さらにコスト削減ができるように。

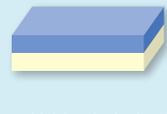


コンクリート長寿命化フィルム

完成した長寿命化フィルムは、コンクリート保温保温シートと同様に、全国で5000種ほどの製品だけが登録される国交省のNETIS（新技術情報システム）に登録。国交省が効果を評価した技術として注目されている。



塗材：
粘着性コンクリート表面改質材液



基材：高密度プラスチックフィルム

メンテナンスをしながら長く使い続けることを可能にするフィルム。サステナブルな社会を目指すこれからの時代にふさわしい製品。

にする。 開発する接着剤メーカー

サステナブルな社会に 必要とされる存在であるために

改良版のコンクリート保温保温シートと前後して誕生した「コンクリート長寿命化フィルム」もまた、これからの時代に必要とされるアイテムだ。「劣化してきたら壊して新しくするスクラップ&ビルドではなく、メンテナンスで安全性を確保し長く使い続けるという時代のニーズにあわせたフィルムです」。このフィルムを経年コンクリートに貼り付け、しばらくしてフィルムを剥がすと、粘着剤などを独自の配合で組み合わせた強化剤のみが表面に残り、コンクリートの表面を保護し、強度を上げる。年月が経ったコンクリートにフィルムをラップのようにピタッと密着させる必要があり、何度も試作を重ね、完成した。老朽化してから補修や改修をするのではなく、定期的に点検しフィルムを塗布してメンテナンスをすることでコンクリートの寿命を延ばすという画期的なフィルムだ。

お客様の要望に応えるためにコツコツ開発するというのが、創業以来、受け継がれている菊井商会の姿勢だ。コロナ禍で工事の延期や中止によって売上は下がったものの、開発などの相談が尽きることはなかったという。「これからも時代の変化に対応しながらニーズに合わせて開発するだけ」と保井さんは微笑んだ。



つくる製品に合わせて取引先の工場で配合した粘着剤を、自社工場ですべてのフィルムに塗布することで製品として仕上げる。



取締役
保井 拓朗 氏

株式会社菊井商会

代表者 代表取締役社長 保井 陽子 氏
所在地 丸亀市土器町1-9-31
電話番号 0877-22-3725

<https://kikui-shokai.com/>



機能性表示食品届出支援事例の紹介

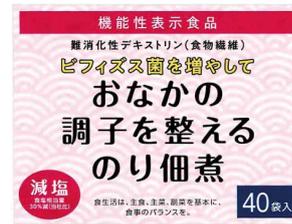
支援事例紹介

安田食品工業株式会社(小豆郡小豆島町)は、食物繊維である難消化性デキストリンの機能性に着目して開発した『おなかの調子を整えるのり佃煮』を機能性表示食品として消費者庁に届出しました。

この度、下記の内容で届出が完了し、機能性表示食品として製造販売されています。

これまで、機能性表示食品としては全国で約5,300件の商品が受理されていますが、県内企業の届出商品は今回の商品を含めて26件となりました。うち14件は当財団が支援しました。

商品名	おなかの調子を整えるのり佃煮		
事業者名	安田食品工業株式会社	機能性内容	おなかの調子を整える
届出日	令和3年4月13日	1日摂取目安量	本品20g(2袋)あたり、 (含有量：難消化性デキストリン5g)
機能性関与成分	難消化性デキストリン	販売開始	令和4年1月5日



お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 地域共同研究部 研究開発課
高松市林町2217-43 RISTかがわ TEL.087-869-3440 FAX.087-869-3441

～中小企業地域資源活用等促進事業助成金を活用～「地域資源ブランド化・販路拡大支援事業」募集中!!

地域の資源を活用した商品の開発、デザイン開発等によるブランド力の強化、戦略的な情報発信等による販路拡大のための実効性のある新たな取り組みを支援するため、助成金を交付します。

1. 助成対象事業

地域の資源を活用した自社の商品で次のいずれかに該当するもの。

- 商品の開発(既存商品の改良を含む。)
- デザイン開発等によるブランド力の強化
- 戦略的な情報発信等による販路拡大

※地域の資源とは、香川県が令和2年9月に「地域産業資源活用事業の促進に関する地域産業資源の内容の指定」により特定した地域産業資源((3)を除く。)、または香川県伝統的工芸品として指定されているものをいいます。

2. 助成率・助成額

助成率：2/3以内
助成額：50万円以上200万円以下

3. 採択予定件数

6件程度

4. 応募方法

所定の申請書と添付書類を、個別にお知らせするURLから電子申請(本申請)を行ってください。申請書等は、財団のホームページ(<https://www.kagawa-isf.jp/>)からダウンロードできます。

5. 募集期間

令和4年 4月12日(火)～
令和4年 5月18日(水) 17時

必着



申請される場合は、2次元コードから申請登録(事前相談)を行ってください。インターネット環境が整わない等で申請登録できない場合は、電話(087-868-9903)でお問い合わせください。

6. 助成の対象となる事業の決定

書類審査及びヒアリング等の後、専門家等で構成する審査会での審査を経て決定します。申請者は審査会でプレゼンテーションを行っていただきます。

お申込み・お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 総務部 ファンド事業推進課
高松市林町2217-15 TEL.087-868-9903 FAX.087-869-3710

令和4年度 起業等スタートアップ支援補助金の募集を開始しました!

県内で起業等を行う者に対し、その起業等に必要経費の一部を補助します。

区分	地域課題解決型				
補助対象事業	地域に蓄積された強みなどの地域資源を生かして、地域活性化関連、子育て支援、健康関連、買物弱者支援、まちづくりの推進などの社会的な分野で、地域の課題の解決に資する事業				
補助金額・補助率	200万円以内(1/2以内)	対象者	県内における起業者等	対象経費	人件費、事業費、委託費
募集期間	令和4年4月11日(月)～5月27日(金) 17:00必着				

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 企業振興部 企業支援課 TEL 087-840-0391 FAX 087-869-3710

詳細はこちらをご覧ください。▶ <https://www.kagawa-isf.jp/support/fund/startup/>

総務部

〒761-0301 香川県高松市林町2217番地15
香川産業頭脳化センタービル1F・2F

総務課
TEL(087)840-0348 FAX(087)869-3710

施設管理課
TEL(087)869-3700 FAX(087)869-3703

企画情報課
TEL(087)868-9901 FAX(087)869-3710

ファンド事業推進課
TEL(087)868-9903 FAX(087)869-3710

企業振興部

〒761-0301 香川県高松市林町2217番地15
香川産業頭脳化センタービル2F

企業支援課
TEL(087)840-0391 FAX(087)869-3710

取引支援課・海外展開支援室
TEL(087)868-9904 FAX(087)869-3710

技術振興部

〒761-0301 香川県高松市林町2217番地16
FROM香川1階
産学官連携推進課・健康産業プロジェクトチーム
TEL(087)840-0338 FAX(087)864-6303

地域共同研究部

〒761-0301 香川県高松市林町2217番地43
RISTかがわ1階

研究管理課・研究開発課
TEL(087)869-3440 FAX(087)869-3441

知的財産支援部

〒761-0301 香川県高松市林町2217番地15
香川産業頭脳化センタービル2F

知的財産支援課
TEL(087)867-9332 FAX(087)867-9365

知的財産普及課
TEL(087)869-9004 FAX(087)867-9365



この印刷製品はグリーン基準に適合した印刷資材を使用し、グリーンプリンティング認定工場が印刷した環境配慮製品です。 印刷：香川印刷株式会社